

スクールカラー

○グリーン系の「ときわ(常盤)色」

常盤色

○そこに込めたい思い

(威風堂々)

・時津町の町木は「くすの木」である。成木期には大木になるところから、時和の子供たちが小学部・中学部・高等部の「時」をかけて威風堂々と成長するようにとの願いを込めた。

(学校周辺)

・「くすの木」が成木になったときの緑色と、学校周辺の緑の重なりがあり、学校のイメージの一つとしてもたせた。

(平和)

・緑色は平和や調和をイメージできる色であり、「時和」の「和」に込められた思いとの親和性をもたせた。

(繁栄)

・「ときわ(常盤)」とは、常に変わらないことを指す言葉で、長寿と繁栄の願いを込めた。

・「ときわ(常盤)色」は、江戸時代には縁起の良い吉祥の色として好まれていた。これからの時和特別支援学校の児童生徒たちと学校の繁栄の願いを込めた。